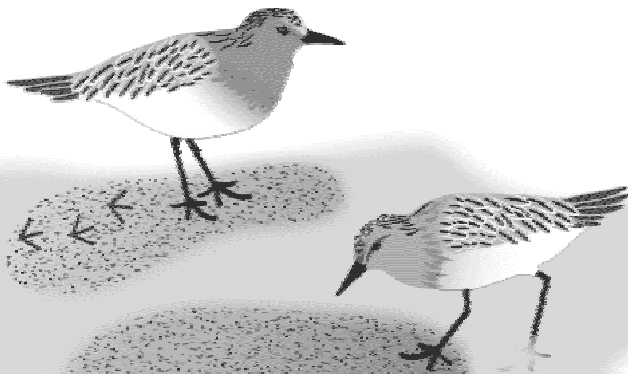


## トウネン Rufous-necked Stint

根室の短い夏が終わりを告げる頃、はるか南を目指して旅する渡り鳥達が春国岱の水辺に立ち寄っていきます。シギやチドリの仲間です！今回ピックアップした「トウネン」はこのシギ・チドリの中でも最も小さな鳥で、



yuki

体重はわずか10グラムぐらいしかありません！本当に何千キロも旅ができるの？と心配になってしまうくらい、小さくてカワイシイ鳥です。羽が生え変わる前の真っ赤な姿は、私にはトマトが干潟を駆け回っているかのように見えてしまいます。

春国岱の砂浜を歩いていると、トウネンが道先案内人になって先導してくれることがあります。一緒に散歩をするなら8月後半から9月初旬がオススメです（H）

## 7月・8月のイベント

### 自然観察入門

#### 海のいきもの見つけにいこう！

【日時】7月31日（土）  
8:30～12:00（悪天候中止）

【申込】7/30まで

【定員】先着20名

【概要】風蓮湖周辺の海は「いきものの宝箱」。塩の引いた海岸で海辺のいきもののヒミツを探ってみよう。イソギンチャクやヤドカリ達を見つけれられるかな？

根室湾中部漁業共同組合さんとの共催イベント。



### 自然観察入門

#### 夜の森のいきものさがし！

～コウモリと夜の住人たち～

【日時】8月14日（土）  
18:00～20:30（小雨決行・悪天候中止）

【申込】8/13まで

【定員】先着20名

【概要】夜の森に行ったことってある？夜は動物達が活発に活動する時間。特別な機会にコウモリを探したり、動物達の夜の生活をそっとのぞきに言ってみよう



イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ！

電話 0153-25-3047

イベントは全て事前申込みが必要です。申込締切までに電話か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。

## 自然予報

### 7・8月に見られそうな鳥・花

== 7月 ==

- <鳥> ミヤコドリ・ホウロクシギが少数確認される  
ダイゼン・トウネン・キアシシギ・メダイチ  
ドリ飛来  
タンチョウ・オジロワシ・干潟にでてくる  
ことが増える
- <花> エゾフウロ・ノハナショウブ・ホザキシモツ  
ケが開花  
ハマナスの果実が実り始める



== 8月 ==

- <鳥> シギ類が増えはじめる。  
ホウロクシギ・キョウジョシギ・イソシギ・  
オバシギ・タカブシギ・チュウシャクシギ・  
ミユビシギ・ハマシギ・ヒバリシギ・ヘラシ  
ギ・ムナグロなど（シギ類の見頃は8月いっぱい）  
アジサシ飛来
- <花> ハナイカリ・エゾカワラナデシコ・キツリフ  
ネ・ウンラン・エゾオグルマ・ハンゴンソウ・  
ヤマハハコ・エゾトリカブト・サワギキョ  
ウ・エゾリンドウが開花



## おもしろ自然コーナー

### タンチョウの子育て「初飛行日はいつ？」

道の駅「スワン 44 ねむろ」から見られるタンチョウの親子は、1羽のヒナが順調に育っています。7月7日には、ヒナの背の高さは親の背中くらいまでになっていました。

ヒナは、普段、親1羽とともに岸辺の繁みの中にいます。潮がひいて干潟ができると、繁みから出てきて餌を探しています。もう自分でも餌が採れるのですが、まだまだ甘えて親から餌をもらっています。

ヒナの体はまだ全身茶色ですが、足の長さは親と同じくらいに伸びました。これから白い翼が生えてきて、親と同じ大きさになり、やがて生後百日くらいで飛べるようになります。このままだと、8月末から9月上旬にかけてが「初飛行日」になるでしょう。

ヒナが羽ばたいたり、おっかなびっくり飛ぼうとする姿には、「頑張れ！」と声をかけたくなります。

観察しやすい「スワン 44」で、ヒナの成長を確かめてみてください。（0）



## 海・森・湿原からの手紙

～ 湾中さんに聞いてみよう！ ～

春国岱・風蓮湖周辺で海産物の販売などを行っている、根室湾中部漁業協同組合（以下 湾中）の番匠さんに、アサリのことなどのおもしろいお話を聞いてきました。7月31日には湾中さんとの共催イベントもあります。アサリの面白い生態も見られるかも！？そちらも是非ご参加ください！



1910年2月28日に設立された幌茂尻厚別漁業組合が、今の湾中の前身。その設立以前からも、この周辺で漁業は行われていたはず。そして、温根沼からはオオノガイの貝塚が見つかるから、ここで貝を食べる文化はかなり古くからあったんだね。

ここのアサリは、ここの自然が育てた純根室産。アサリの生長にぴったりの環境がここにはあるんだ。それは、淡水と海水が混じり、砂地があって、潮の流れが強い場所。アサリは水中で産卵して、その子供達が水中を漂い、砂の上に定着し、潜って大きくなっていくんだ。潮の流れが強いと、定着した子供達が流されてそこで育たないんだ。

昔は、子供もよくアサリ漁の手伝いをしたよ。アサリをむき身で売っていたから、むき身にするのが子供の仕事だった。学校から帰るとすぐに手伝いをしたもんだ。けっこう大変だったんだよ。今は、カラつきで売るよ

になったから、子供が手伝う場面も少なくなったけれどね。カラつきで売ようになったのは、食べ方や、流通のシステムが変わったことが原因かもしれない。でも、むき身で食べると色々な食べ方ができておいしいんだ。むき身をギョウジャニンニクと混ぜて卵とじで食べるとホントにおいしいよ。

タンチョウ・カモメ・カラスがアサリを食べる。ハクチョウも食べるかもしれない。ハクチョウが来る時期になると、アサリがたくさんある場所に、よくやってくるからね。

アサリ漁をしている漁師のすぐそばに、タンチョウがくることがある。タンチョウはあんまり漁師に警戒しないみたいだ。ここは、タンチョウみたいな鳥達と人が、「いい関係」で暮らしている場所なのかもね。

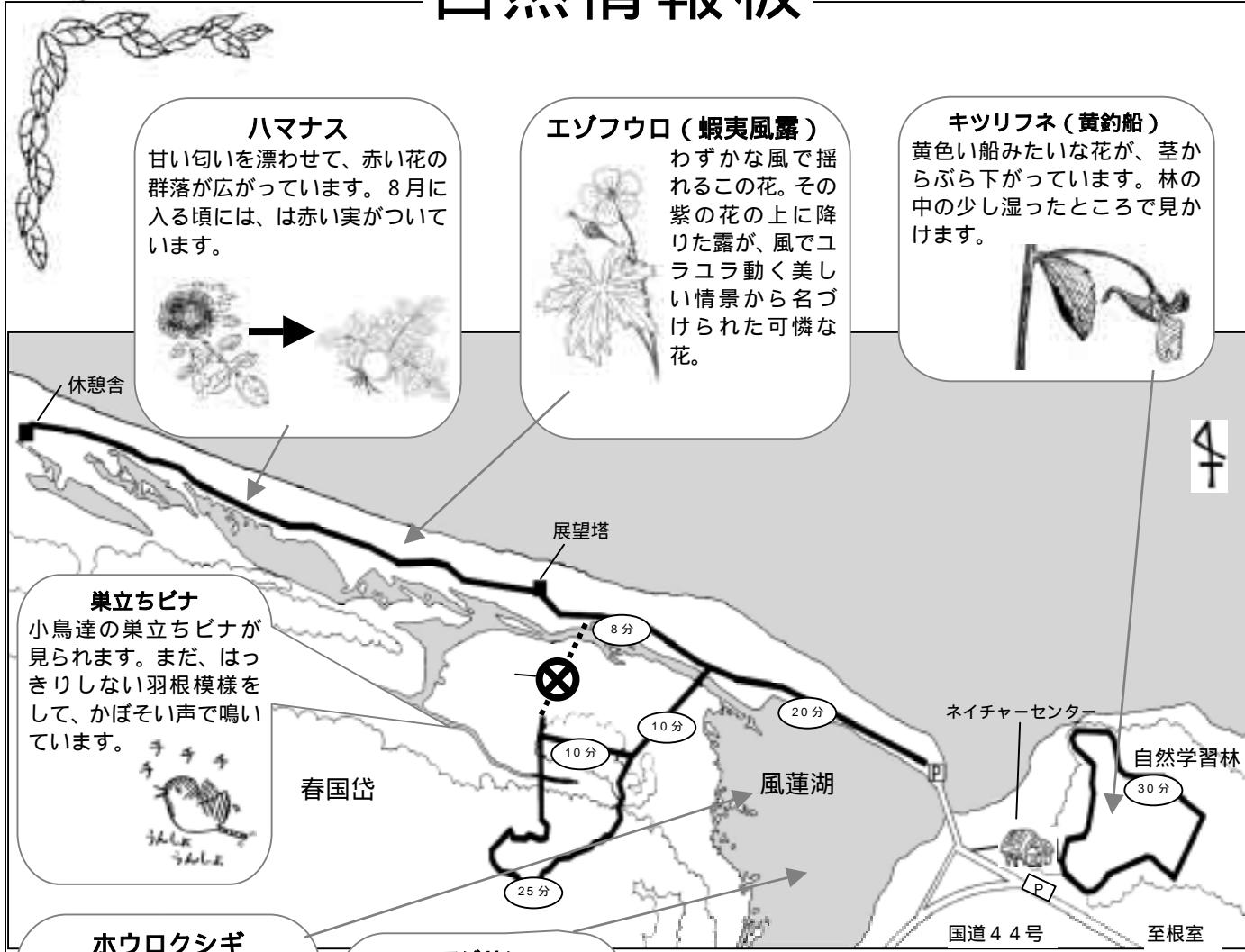
（取材・まとめ：K）

### おいしい情報

アサリのおいしい時期：4・5・6・10月頃



# しぜんじょうほうばん 自然情報板



**ハマナス**  
甘い匂いを漂わせて、赤い花の群落が広がっています。8月に入る頃には、は赤い実がついています。

**エゾフウロ (蝦夷風露)**  
わずかな風で揺れるこの花。その紫の花の上に降りた露が、風でユラユラ動く美しい情景から名づけられた可憐な花。

**キツリフネ (黄釣船)**  
黄色い船みたいな花が、茎からぶら下がっています。林の中の少し湿ったところで見かけます。

**巣立ちピナ**  
小鳥達の巣立ちピナが見られます。まだ、はっきりしない羽根模様をして、かぼそい声で鳴いています。

**ハウロクシギ**  
干潟で泥にクチバシを深く差し込み、ゴカイやカニを食べています。日本で最大級のシギだから、ホントに大きなシギなんです。

**アジサシ**  
カモメ類の親戚です。空中から急降下して、クチバシから水中に突っ込み魚を捕らえるダイナミックな狩をします！8月頃にやりますよ！

**6月25日～7月12日に春国岱周辺で確認された鳥・花**

**<鳥>**

ウミウ	クマガラ	ルビタキ	シジュウカラ
アオサキ	アカゲラ	ウグイス	ゴジュウカラ
ヒ	コゲラ	エゾセンニュウ	アオジ
オジロワシ	ヒバリ	シマセンニュウ	オオジュリン
タンチョウ	ショウドウツバメ	マキノセンニュウ	カラヒワ
クイナ	ハクセキレイ	コヨシキリ	ヘビマシコ
オオジシギ	モズ	センダイムシクイ	ウリ
オオセグロカモメ	ミソサザイ	キクイタダキ	ニュウナイスズメ
ウミネコ	コマドリ	ハシブトガラ	コムクドリ
キジバト	ノゴマ	コガラ	ハシボソガラス
カッコウ	ルビタキ	ヒガラ	ハシブトガラス
ツツドリ			

**<花>**

(白)	(赤)	(青・紫)	(黄)
オオハナウド	ハマナス	ハマエンドウ	センダイハギ
エゾノシシウド	エゾノサワアザミ	ヒオウキアヤメ	エゾツルキンバイ
シャク	ウミドリ	チシマアザミ	
オオササモチ	エゾノシモツクソウ	ウツボグサ	(緑)
ミノフスマ	シオガマキク	チシマフウロ	エゾイラクサ
ツルアジサイ	エゾフウロ		オオシバナ
ヤマブキショウマ	ホサキシモツケ		エゾノコウホウムキ
イチャクソウ			
オウバウリ			

**=お知らせ=**

春国岱の夏は、霧が発生し、森の中は幻想的な雰囲気になります。その一方で、蚊が発生します。肌の露出をさけ長袖などの着用をお勧めします。

観察路の一部に、湿った場所がありますので、長靴の着用をお勧めします。

観察路の木道で、老朽化の進んでいる部分があります。歩くときは足元に十分お気をつけください。



## ねいちゃーせんたー日記

6月のある日。本州からの団体ツアー旅行で40名程のお客様が来館されました。「北海道はどうですか?」と聞いてみると、「でっかいどー!」「フキがかいね~」「寒いよ~」などなど色々な声が聞かれる。「ツアーに参加する前から春国岱はご存知でした?」と聞いてみると、今度は多くの方が一緒に「んにゃ、初めて聞いた」とのこと。ん~。

春国岱が見せてくれる生き物の暮らしや、風景についてお話しすると、初めていらっしゃるお客様の多くは、「こんな場所があるなんて知らなかった。」と言います。そんな時、口をついてでてくるのは、「是非、この場所を自分の目で見て、足で歩いて確かめてください。」の言葉。

時間をかけてゆっくり過ごすことで、言葉で語れぬものがたくさん見られます。30分で帰る時間となってしまう、そのお客様達の背中に、「もう少しゆっくりして外も歩いていってください~」との勝手な願いを込めて、「またいらしてください!」と声をかけました。



## スノクの活動

ネイチャーセンターのボランティア活動に参加しませんか?

スノクは春国岱 NC の活動を支援、または発展させるために活動しているボランティアグループです。メンバーは随時募集しています!

**メンバー登録をする前にスノクの活動をとりあえず見てみたいとい方も大歓迎です。まずは、ミーティングや各プロジェクト、イベントの下見会等にご参加ください!**

### これからのスノクの活動!

イベントのサポート

・「海のいきもの見つけにいこう」

下見会 7/24 集合 13:00・当日 7/31 集合 7:30

・「夜の森のいきものさがし」

下見会 8/7 集合 18:00・当日 8/14 集合 17:00

スノクミーティング

・8月スノク学習会(学習林散策)+ミーティング

8月14日(土) 13:29~

**参加希望の方はレンジャーまでご連絡ください!**

## 「ネイチャーセンターだより」のメール配信のお願い

通信誌の**郵送料削減と省資源**を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて(ファイル形式は PDF ファイル)配信しています。ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。**郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信いたします。**

ご希望される方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い申し上げます。

連絡先: nemu\_nc@marimo.or.jp

10人以上  
集まれば!

### 春国岱ネイチャーセンターの団体向けプログラム

春国岱・自然学習林での野外での解説 (1~2時間 / 10~20名)

スライド上映 + 春国岱の自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然学習林のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

その他、ご希望に応じてプログラムをアレンジすることもできますのでご相談ください。

**利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。**

**などの野外ガイドは、学校団体・町内会等に限定させていただきます。**



### 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地

TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

・入館無料 (双眼鏡無料貸し出しあり)

・開館時間 4~9月 9:00~17:00

10~3月 9:00~16:30

・ホームページ

[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)

・e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2004.7.発行

### 7・8月の休館日

<7月: 7・14・20・21・28日>

<8月: 4・11・18・25日>

休館日: ・水曜日(祝日の場合、その翌々日)

・祝日の翌日(土・日曜は除きます)

